

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社 傳刀組）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・「行動規範」で差別的扱いの禁止を掲げ、内容の理解と遵守を確認している。 ・コンプライアンス相談窓口等の設置をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・「行動規範」で人権の尊重を掲げ、各種ハラスメント等、人権や多様性を侵害する中傷発言や行為の禁止を確認している。 ・コンプライアンス相談窓口等の設置をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・勤怠システムを導入し、リアルタイムでの労働時間や残業時間を把握・管理している。 ・毎月第3水曜日をノー残業デーとし実施している。								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			現在、外国人労働者は在籍していないが「行動規範」で差別的扱いの禁止を掲げ、内容の理解と遵守を確認している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・労働安全衛生を含む、当社の統合マネジメントシステムを制定している。 ・毎月、安全衛生委員会と協力会社による合同安全パトロールを実施している。			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・「ストレスチェック制度実施規程」により毎年ストレスチェックを実施し総体的な結果を安全衛生委員会が審議している。 ・「心身の健康づくり計画」及び「メンタルヘルス不調者に係る休職・復職に関する規程」を定め周知している。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・高齢者や子育て、要介護者がいる等、個々の実情に配慮した働き方・特別休暇を採用している。 ・「社員の子育て応援宣言」に登録している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・業務に必要な資格等の取得を支援するため、費用を会社負担とし必要な時間を勤務時間としている。				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・現在の雇用形態は全員が正規従業員である。					5.5			8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・全国健康保険協会（協会けんぽ）長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている。 ・「健康経営優良法人認定（中小規模法人部門）」（経済産業省）を取得している。			3					8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・排出事業者として委託契約書、マニフェストによる管理。 ・クラウドストレージサービスである『Fileforce』を導入し、オフィス廃棄物の削減を推進している。										11.6	12		14.1					
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・電気及び化石燃料の使用量を把握しており、削減に努めている。							7.3					13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）		【予定】	自社のエネルギー使用量から温室効果ガス排出量の把握をし、一元管理する。							7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・化学物質リスクアセスメント全社標準を策定し適切な使用と共に労働災害や揮発による曝露リスクを評価・低減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4						

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・年数回、専門業者により社有地内の樹木の整理を実施している。 ・工事現場で使用する内燃機関機器には防油堤を設置する等の措置を講じている。						6.6								15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・紙の資料や帳簿をクラウド上のデータへ移行している。 ・印刷ミス紙の裏面を社内用印刷物に使用している。 ・工事用資・機材の再利用に努めている。									13		14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社内庭園池の貯水に敷地内雨水を利用している。 ・工事現場において、循環リサイクル方式の仮設トイレ導入を促進している。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	エコアクション21の要求事項に基づいた環境への取り組みを出来るところから実施し認証を目指す。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			年に数回、公共施設及び排水路の清掃ボランティア活動を実施し、ホームページ及び社内月刊誌に掲載している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			現場における工事用機器の電源の一部に太陽光パネルを採用している。							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	事務用品や什器の選定において、エコマーク認定品をはじめとする『環境配慮型製品(環境物品)』の優先購入を推進する。													12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			「行動規範」のなかで、法令・規範の遵守及び過剰な贈答接待の禁止・拒否を整備し、周知している。															16 16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			関係する法人や組織・個人、その他取引先に対し、誠実に接し、節度ある健全、良好な関係を保ち、不公正な決定、便宜供与、取引は行わないことと「行動規範」に掲げ実践している。															16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			知的財産権を厳格に保全すると同時に、他者の知的財産権を侵害しないことを含む「行動規範」を整備し、社内に浸透を図っている。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・「行動規範」のなかで、適正な個人情報の収集・管理の厳格な取扱等を定め管理している。 ・クラウド上の個人情報にアクセスできる社員を必要最小限に制限している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			部品や原材料の調達時に、紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			取引先と対話を通じて企業活動における倫理等の基法方針及び法令遵守など相互の価値観等の認識を深めながら、事業に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10							17	

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本（必須）			品質マネジメントシステム(ISO9001)を認証取得している。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本（必須）			品質マネジメントシステム(ISO9001)を認証取得している。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ（任意）		【予定】	省資源型工法の採用を顧客に提案していく。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・JR及び幹線道路等の除雪に積極的に対応、協力している。 ・北アルプス特定共同企業体の構成企業として地域幹線道路橋梁維持修繕にあたっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域社会貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本（必須）			・現場説明会、見学会などを行い、地域との対話の中で事業における地域への影響を把握し改善に努めている。 ・現場周辺の美化活動を実践している。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・県の消防団協力事業所表示制度に加入している。 ・地域の児童、生徒、学生の現場見学や職場体験を受け入れている。 ・施工地域の伝統的祭りへ協賛・参加している。				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ（任意）			・受注した工事に使用する資材に長野県産材を積極的に選定している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本（必須）			・社是、社訓、安全衛生方針、品質方針を制定し周知している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本（必須）			・「行動規範」で法令遵守、社内規則等の遵守を掲げ違法行為の禁止を確認している。 ・CSR会議を設置をしている。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本（必須）			・行動規範推進組織体制を整備している。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本（必須）			・当社の品質及び労働安全衛生統合マネジメントシステムにおいて、ステークホルダーとの対話を実施している。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ（任意）			・当社の品質及び労働安全衛生統合マネジメントシステムにもとづき、リスクアセスメントを積極的に活用し、リスクの洗い出し、評価を行い対策を講じ、次への計画を策定している。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ（任意）		【予定】	・社会が持続的に発展し人々が安全で安心な環境で生活を維持できる事業活動を目指してCSR会議を形骸化しない。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ（任意）			・一定規模の災害発生時における事業継続計画（BCP）を策定している。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ（任意）		【予定】	計画的に事業承継に取り組み、現経営者がバックアップできる体制を整える。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定